

1. 提案事業概要

【事業名】	アジア統合医療会議—アジアにおける統合医療モデルと科学的解明—
(英語名称)	The conference for integrative medicine in Asia - The Model and Scientific Research of Integrative Medicine in Asia -
【提案者氏名、役職、機関・部署名】	渥美 和彦 一般社団法人 日本統合医療学会 理事長 (東京大学 名誉教授)
【事業形態】*	(1) 国際集会の開催
【実施期間】†	平成 22 年 3 月 27 日・28 日 (2 日間)
【実施場所】†	東京大学小柴ホール
【参加国・地域】†	日本、韓国、中国、台湾、インド、タイ、マレーシア、オーストラリア、イラン、サウジアラビア等 10 ヶ国
【事業概要】	<p>近年、「統合医療」(Integrative Medicine) の分野は急速な進展を遂げている。統合医療は近代西洋医学と伝統医学が融合した新しい医療体系である。前者は科学に基盤をおくものであるが、伝統医学は、5,000 年の経験に基くものであり、中医学(中国)、アーユルヴェーダ(インド)およびユナニ(アラブ諸国)、さらには日本の漢方および韓国の韓医学などがある、アジア諸国共通の伝統的医療資源である。</p> <p>とりわけ、従来の近代西洋医学では十分にカバーできていない予防及び健康増進といった分野において、先端医療技術と伝統医学の知恵を融合させた統合医療が、アジア諸国の最先端医療現場において、めざましい成果をあげつつある。</p> <p>今回提案する国際会議は、日本とアジア諸国の先端医学及び医療研究者・医療行政担当者が一堂に会することにより、各国からの参加者による統合医療の現状報告及び、各国での問題点、今後の展望について実質的な討論を行い、アジアにおける統合医療の科学的解明に焦点をあて、「アジア発の統合医療モデル」のコンセンサスと構築及び科学的根拠に関する専門家の意見交換と研究者コミュニティの形成を目指した将来展望を検討し、21 世紀における世界の新しい医療への橋渡しの役割を果たすことが目的である。</p> <p>日本統合医療学会及び関連大学・研究機関では、これまで海外の統合医療関係者等の招聘、アジア・欧米諸国における統合医療の実態調査(厚生労働科学研究費)、統合・代替医療の科学的評価手法の研究(科学技術振興調整費)などを行ってきたが、これらの成果を十二分に活用しつつ、今回、アジア諸国に焦点を当て、「アジア発の統合医療モデル」に関する国際シンポジウムを企画するものである。</p> <p>シンポジウムの成果は、我が国の関係省庁(厚生労働省、文部科学省、経済産業省、内閣府)に報告し、今後の医療政策に反映させるとともに、アジア諸国と日本の臨床・研究機関が連携した国際医療連携協力プロジェクトへと継続的に発展させていく予定である。</p>